

米原市人権意識調査について

1 調査目的

市民の人権問題に関する意識のありようを把握し、さまざまな人権課題の解決に向けた施策を推進するための基本方針を改訂するとともに、市民への人権教育・啓発を進めるための基礎資料を得ることを目的に実施する。

2 調査の設計

調査対象：米原市に住所を有する満 18 歳以上の男女 2,000 人

(標準サンプル：1,800 人、追加サンプル：20 代 150 人、30 代 50 人)

※追加サンプルは回答率が低い層（20 代、30 代）の補完を行い、年代別比較等で活用する。

抽出方法：令和 4 年 8 月 1 日現在の住民基本台帳から無作為抽出

調査期間：令和 4 年 9 月 9 日（金）から 9 月 30 日（金）まで

調査方法：・郵送調査法とする。（調査票を返信用封筒とともに発送し、回答を記入後、返信いただく。）

・無記名での実施とする。（性別、年代などは統計情報のため記入する。）

外国籍市民の取扱いについて：市内には人口比で 1.47% (R4. 6. 1 時点) おられる。2,000 人抽出時は約 30 人が抽出されることが想定される。外国籍市民への対応として、中国語、ポルトガル語、英語での問合せ先を記入した文書を同封して対応する。

3 調査の項目

- (1) 男女平等についての見方
- (2) 人権侵害に該当する事象
- (3) 人権侵害について
- (4) 同和問題に関する発言
- (5) 同和地区出身者との結婚を家族から反対されている親戚に対する態度
- (6) 子どもの人権について
- (7) 外国人の人権について
- (8) 家族に関わる人権について
- (9) 憲法に定められた国民の権利
- (10) 人権の視点から問題のある行為について
- (11) 外国人を含む「人権尊重のまちづくり」施策の認知状況
- (12) 学校での人権教育について

(13) インターネット上での書き込みについて

(15) 「ハートフル・フォーラム」について

(16) 米原市の人権施策等の認知状況

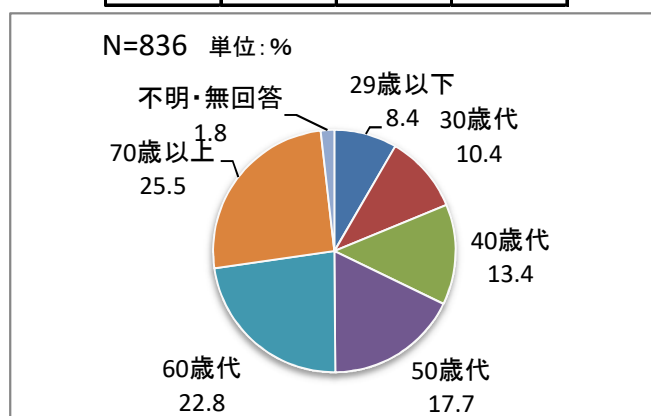
4 調査のスケジュールについて

- ・ 2022年3月～4月 委員から意見集約
- ・ // 5月 設問の再検討
- ・ // 6月 人権尊重のまちづくり審議会（調査方法・調査票の確定）
- ・ // 7月 人権意識調査票作成・対象者選定
- ・ // 9月 調査票の発送・意識調査の実施
- ・ // 10～12月 調査表の集計
- ・ // 11月 人権尊重のまちづくり審議会（調査状況の報告）

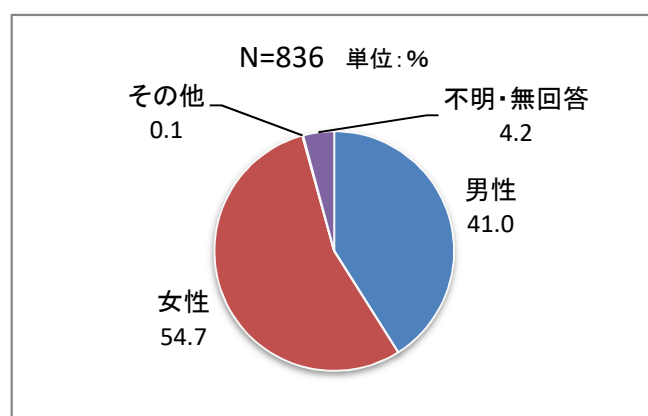
※集計後、データ分析を行い調査報告書の作成および、概要版の作成を行う。

《参考》前回調査時の回収状況（回収率、年齢別、性別）

		回収数	有効 回収率(%)
総数		836	41.8
性別	男性	343	34.7
	女性	457	45.2
年齢別	29歳以下	70	22.4
	30歳代	87	30.0
	40歳代	112	33.0
	50歳代	148	46.0
	60歳代	191	55.0
	70歳代以上	213	54.6



【回答者の年代別の割合】



【回答者の性別の割合】

「70歳以上」の割合が25.5%と高く、「60歳代」(22.8%)、「50歳代」(17.7%)が特徴的。 「29歳以下」は8.4%と、低くなっている。これは「女性」が多いことと同様、年齢の高い市民からの回収率が高かったため、今回の調査結果は、女性ならびに60歳以上の回答傾向がやや強くあらわれているといえる。